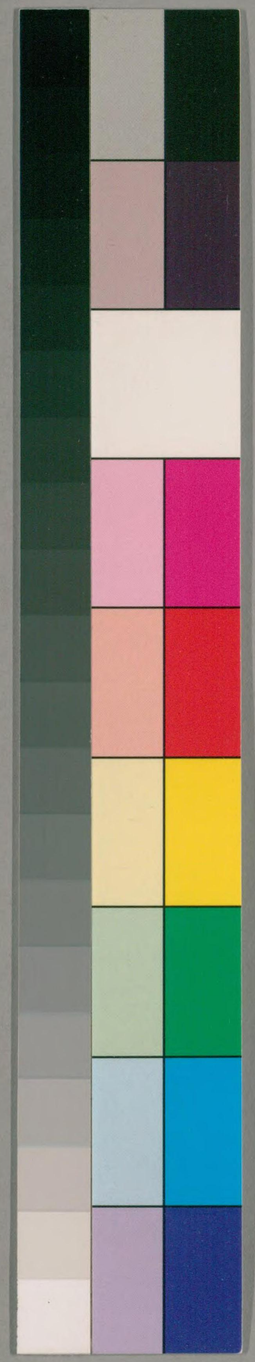
唐土訓蒙図彙

自十二至十四

目次

巻之十二　艸木之部
水菜湿苞灌果寓喬類
巻之十三　禽獣之部
山川林陸諸禽百獣類
巻之十四　魚虫之部
鱗介倮毛龍亀蟹虫類

031.
H545t
W



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

国立国会図書館蔵書

唐土訓蒙図彙巻之十二

草木

此部ニハ水菜毒湿雑苞灌果寓喬之艸木のもて殆ばらまれ

艸木之下

龍髪須菜 海中石ニ生して繒乃ことしこれどれて水と沃ハ白し 海藤石花菜の乾こゞ水にて白く

鷓鴣菜 海石のうへニ生ハ小兒の蟲病ニ用れたいや

古書云和くのとし和信其菜と同しくせんし 和生ニ同也

和名シラモ

和名マクリ

澤瀉 沼の淺水の中に生葉牛の舌ノ似ち莖長し花黄色なり 世俗燕尾艸と沢瀉とすりいあやまる也

大藕兒 根ハ藕の如くして小さ煮熟して食ふ 枝葉食ふ

国立国会図書館蔵書

国立国会
28.1.23
図書館

286355

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

燕子花（えんしくわ） 水沢に生る花紫に又白きもあり其形の似たるを以て燕子と云 和名カキツバタ

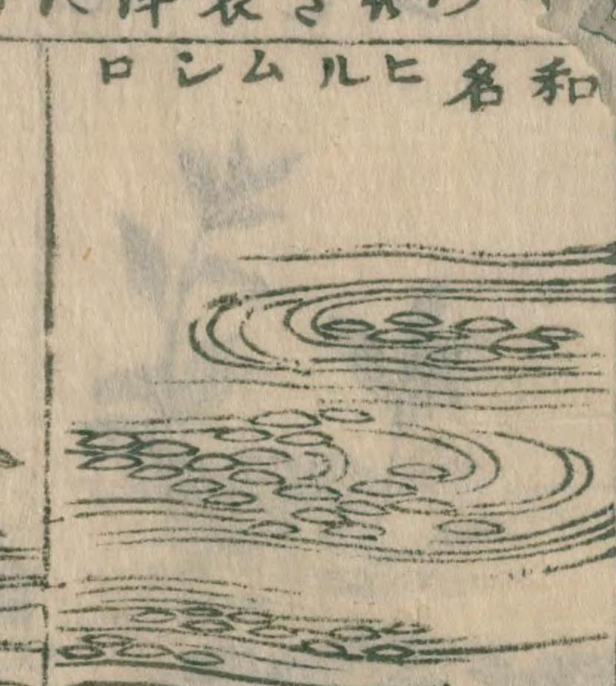
浮薔（ふしやう） 夏に入て生る六七月にとりて湯に淖（ひた）し曝乾し再の泡（むき）塩醋（えんそ）に拌（まぜ）食ふ生も亦よし

牛尾温（ぎうびうん） 深水（しんすい）の中に生る葉は髪の如く茎は藻（も）のごとし冬月魚と和（くわ）して煮食ふ夏秋もよし

眼子菜（がんしさい） 六七月より水沢の中に生る葉表青く北月は紫色柔滑（じうかつ）にして細長採て入れ湯に淖し晒乾（さいかん）し醋醤（そしやう）に拌（まぜ）てくらふべし

燈籠兒（とうろうじ） 二月これをとり浅ひきざみ香油（かうゆ）撥塩に炒（いり）てくらふべし

水菜（すいさい） 秋水田に生る状白菜に類す香油撥塩（はつえん）にてひたせてくらふべし



我鳥兒腸（がしちやう） 地に就て叢生して長く節々對して葉生る葉間分て枝を生じ白き花を開く苗葉食へし

地瓜兒（ちくわじ） 苗の高二尺餘茎方に四稜あり葉薄荷に似て微長し苗根ともにくらふ

碑米薺（へいべいさい） 田野多し葉あるもをひらく白む花（はな）つみて小児のあそびとし茎と合てなへ人なし

苜蓿（もくしゆく） 二月苗を生る一叢数十茎夏及び秋に入て細黄（さいくわう）花を開く小莢（せうけう）を結て實あり

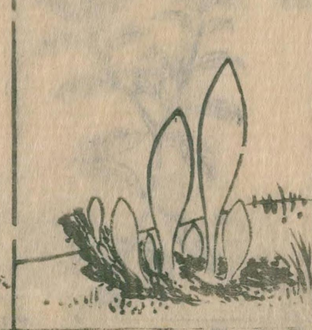
蕺菜（しうさい） 山隠（さんゐん）湿地（しつち）に生れあり蔓生して茎葉紫赤色葉乃形蕎麦（きやうばく）の如うして微少し

牻牛兒（ばうぎうじ） 田野の中に生る茎蔓（けいまん）細弱（さいじやく）紅紫にして五瓣の小紫花をのべき萼葉（がくえふ）と踏上に嘴ありて細進のごとし

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

生飛菜　苗長
一二寸夏秋
白花ヲ開ク細
実ヲ結ブ其味
生飛ノ氣ト
ホボ

蘑菰蕈　桑猪
苓ト土中ニ埋
栗淵ニソダグ時ヲ
蘑菰トス形ハ大
小様々アリ
一名肉蕈　又雞腿



雷聲菌　夏秋
雷雨ノ後秦州
中ニ生ズ蘑菰
ノゴトクニ味モ亦
ホボ
ソレニ

大黄八　春初
苗ト生ズ花麻
ノ似テ根ハ芋乃
ゴトシ一四月実
花ヲ開ク一種羊
蹄　大黄ノ類

附子　烏頭
天雄附子側子
四品都テコレ一
種苗ノ高三四尺
以来莖四稜葉
艾ノ如シ紫碧
色ナリ

牙子　鼠
狼牙ニ似テ苗地ニ
ソヒ似テクヽリアツク大
ニシテ線色根黒
ニシテ鼠ノ歯牙
ノ如シ故ニ名ク

狼毒　苗葉
高陸及大黄ニ
似テ高サ莖ノ上リ
毛アリ四月花ヲ
ひらく八月実
ヲ結ブ

和名ダイコンソウ

和名タバコ

莨菪子　苗莖
高二三尺葉ハ枇杷
ニ似テ大ク四月花
ヲ開ク紫色ノ
莖ニ白毛アリ
五月実ヲ結ブ

烟草　一名
相思草又淡婆
姑トモ云朝鮮
人南草ト名ク
煙花烟酒ハ
不帰トイフ

茵芋　苗長
一七三四尺莖
赤系石榴ノ
似テ稚ク厚シ又
石楠ニ似テ四月
細花ヲ開クシ

大戟　春初
茅ト生ジ長ジテ
叢トナル一
ニ入ヨウ葉初生
ノ柳ニ似テ三
四月黄花ヲ
ひらく

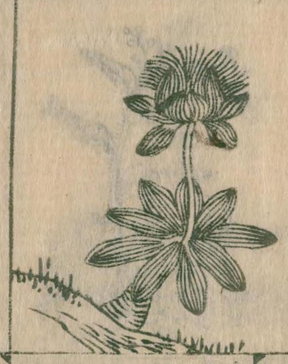
續隨子　苗ハ
大戟ノ如ク花も
また大戟ニ似テ
葉中ニ群ト
抽テ実ヲ結ブ
実ハ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

鬼白　葉ハ蕓麻に似て初生と生ひ差ひの一番ホニ両岐ありて年ごとに一茎ときん蕾結て一白と云ん花赤き茎ともあり

蛍休　苗葉王孫鬼白に似り六月茎紫をと開く葉赤茎色上ゟ金絲あるごとし

海芋　苗を生ずて高四五尺大葉芋のごとく一莖を抽てもと開く一瓣連なりのごとく蕊あり大毒物なり



防葵　葉ハ蕨に似て茎ごとに三葉一なり根莖わり中に一幹有其幹ゟ花と開て蔥のごとく白

蘭　苗葉大戟に似て花黄色根蘿蔔のごとく皮黄ニ肉白秋の時け出て数て漆のごとし

坐竪草　六月紫花とひらき実と結ぶ其苗とりてお撲の傷ゟ治ル

和名ウフウホキ

土紅山　高さ七八尺葉枇杷に似て毛ありて秋白き花と生じ栗粒のごとし

擊倒艷　莖葉ゟ落花の如し春夏葉を取て研搗て冷水に浸し一汁を絞り投て熟盛ゟ煖湯と酒ゟ

苧麻　蛇の毒と解し又犬ゟ毒ゟ人ゟ一切ゟ虫利やまひ

和名ヒトサシレ。ユナ々

水茸草　春苗と生じ莖青色葉楊柳の如く水際ゟ生じ七月八月ニ枯る

芜遂　苗ハ澤瀉ゟ似て莖短小にして葉に汁有根皮赤く肉白し又草芜遂ありて苗葉苎麻のごとし

芜花　二月ゟ比ゟ葉ゟ白ゟ如ゟら葉ゟ如ゟら葉ゟ擦ゟ赤ゟ腫ゟ大毒あり

和名シケシンレ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』　請求記号 031-H545t

ガラス使用

半夏　二月

苗と生ず一茎一根三葉淺緑色頗る竹葉に似て光あり一種半夏あり

和名カラスノヒシャク

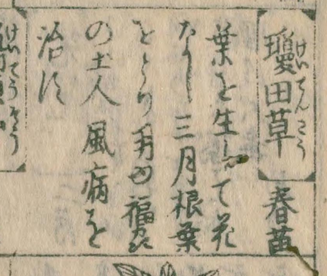
曼陀羅華　高二三尺緑莖碧葉八月白花を開く狀牽牛に似て大し實を結て圓なり

和名テウセンアサガホ

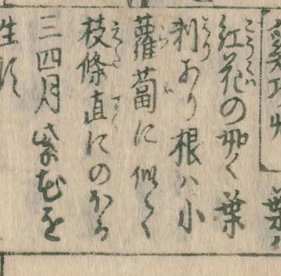
劍寄奴　茎ハ蒲公英のごとく也葉のごとく又一枝柳葉のごとくなりうわら氏葉畫眞のごとくなりけるものなり

和名コトギリソウ

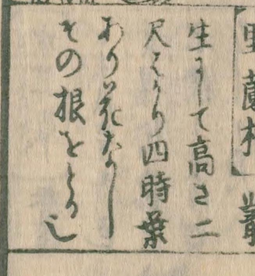
瓊田草　春苗葉を生じて花なし三月根葉ともに枯る秋の苗の土人風病を治ず



鷄項牀　葉ハ紅花の如く葉刺あり根ハ小蕷蔔に似て枝條直にのびる三四月苗を生ず



野蘭根　叢生して高さ二尺ばかり四時葉ありその根をとる



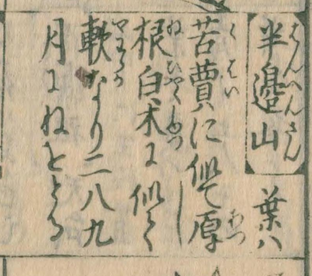
半天回　春苗を生じ高二三尺莖赤斑色冬枯て至て苗葉なし枯る夏月ふたゝびとるなり

兎兒傘　荒地の中に生じその苗る二三尺莖ざらざらを生じ傘蓋の狀のごとくなり淡白色

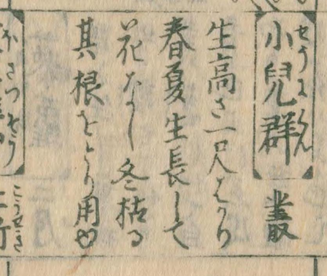
和名ヤブレガサ

蘭高　苗高三尺餘莖幹ゑの如く葉細長く鋸歯し莖莖と布て生じ苗葉ともに食へし

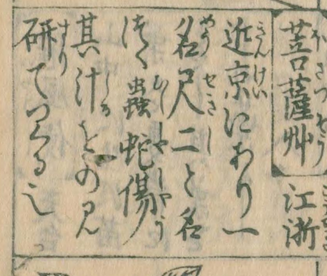
半邊山　葉ハ苦蕒に似て厚根白朮に似て軟なり二八九月ねとる



小兒酔　叢生高さ一尺ばかり春夏生長して花なし冬枯る其根をとり用ゆ



菩薩帥　江浙近京にあり一名尺二と名く蟲蛇傷其汁をもつて研てつるし



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

野落蘿 二三月より嫩葉とり陽に淖して過て塩醋と和してらふ

百乳草 苣

葉俱にまく松葉の如くなく三月より苗を生ず四月より長ず

建水灯 枝葉桑に似て四時常にあり福州より出つ土人葉をとり焙乾まして用ゆ

催風使 天台山中に生ず苗葉冬と夏常にまじり其葉とり薬とし入る

蒜蘿 二月苗と生ず葉初生は稜心より仰り莖ハ葱に似て白青色上に赤皮あり裏の莖微赤皮花ハ紅色し

百薬祖 天台山中に生ず苗葉冬と夏つねに青し土人その葉を冬とる

露筋草 春苗を生じ随てなを肥さざと結ず四時凋ず其子碧色とり時なし

獨脚仙 春苗と生じ秋冬となて葉落つ其葉圓じて上を尖り下に其脚四五寸夏根葉をとる

石逍遙 冬夏常にあり花ハ実も亦多くして常州よりとれり出る

大木皮 其高下大小定られず四時葉あり花なし其皮を用ゆ

百両金 茜の高二三尺八幹ありて木乃如く冬凋まず葉背面倶に紫色実も紫色のごとし

烏藍 烏ハ大なり村人大を呼て烏とん此菜但宜く熱食すべし

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

都管草　苗生りて二三人ぐらゐ葉土當飯子に似て根黄落す似ずり二八月に根とる

薫燎鼻　天台山中に生ず苗葉冬夏常に青し土人其根とりて薬ずり入る

黄花子　春青葉を生ず三月に至てもあり辣菜花に似く黄色秋実と結ぶ

刺虎　葉冬ごと凌て凋なし時ずり根葉枝幹ともに用ず

花心草　蔓生うて白色根ハ黄色四月苗葉とりもちめ

苦仔子　苗の高一尺ぐらゐ枝葉萱青色葉柳のごく白花と開て榆莢に似りを乃子ハ黒色なり

無心草　三月花と開き五月実をむすぶ六七月に根をとりて

節儉汗　葉まく花白し七月ごろ信州の土人ごろく風腫と治ず

鷹爪　花実色赤く餓て垂るの仏に似ずり葉も柳ごに樹ハ連翹ずり似ずり小樹ずりな開て香し

和名レダ一

布里加　茎の高三四尺葉ハ杏に似て大し夏ご花さうんして実なる

紫金牛　葉ハ茶の如く上緑に下紫ごして實ハ圓く紅ごして丹朱のごく根ハ微紫色し

子午花　一名夏落金銭ず赤く実ごなく開く必日午ごいろごろかくる

和名ゴシクハ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

胡菫州 枝葉
小菫に似て花紫
一枝七葉の花三両
出つ苗をれるく
搗て飯菜とし
同熬て丸とす

茸露兒 人家
園中多くうゑ
葉落葉に似て
ゑびこ毛あり
和紫ぶとひらく
根に附子をとる

石棗兒 野圃
多く生ず葉は
薤に似て冬も凋
まず根は水仙の
ことし○民これ
て飢にそつよく
熬されば深し

和名チヨロギ

和名ツルボ

杜莖山 其苗
高四五尺葉は
苦蕒菜に似
たり秋紫ぶ
を開く実拘杞
のごとく大なり

蓽澄茄 春夏
葉を生し青滑
花にへし実を結
て梧桐子に似
たり八九月にて
とるし

麥李花 小に
して葉に遠し
麥熟して實
食へし

望江南 苗の
高さ二三人たり
葉椹葉にくらく
細大し黄花を
ひらく角をむ
すふ三寸作し

白屈菜 田畔
に生ず苗の高さ
一二人莖葉青白
色莖毛刺あり
稍に又を分ち
黄花をひらく
紫は山荻葉に似
たり

萪藤 蔓
抽て地を破て枝葉
なし皮外をつくして
竹皮のごとく剥れば
つるし藤の長数丈
翦伐されば数十里を
繚へし○今なほ
そ細工につふとし

和名イタチサハ

和名クサノワウ

竹蓐 竹
の流れたりて比
につきて生ず鹿
肉のごとく白色こ
くらふべし又竹
に付ても生ず

雷丸 竹の
苓に纍くつら
なりて丸のごと
圓にして皮黒く
肉白しとなりて
うたし

夾竹桃 花は
桃のごとく葉は竹
乃ゆゑ故に名
にて然も温と
いふこと是を畏る
陽処にうゑへし

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

迎春花　臘月黄花と開く根枝上より垂て生ずるがごとくなり色至て黄也

金絲桃　桃の如くして心よく実髪筋わりて花弁に浦筋ありて金絲の如くし

木香花　三種あり実白紫ともに糸状のごとくへし

和名ワウバイ

和名ビマウマオギ

笑靨花　木の高四五尺枝葉ともに春の花を開く小細弁にして粉茶のごとし

郁李　木乃高五六尺枝葉皆李の如く小く梅桃乃如く土小く味酸

和名ニワムメ

錦帯花　蕾の形小豆乃形ちく色粉紅にして撓なり花蘂を屏籬として植て玩に供ふ

和名ハコネウツギ

和名ヤマブキ

和名ヤエヤマブキ

刺桐花　葉ハ野薔薇の如く莖ニ刺多シ花ハ玫瑰の如くして香シ

玫瑰　花ハ薔薇ニ似て枝ニ刺多シ一花ニ五弁ありて香気あり四月ヨリ開く

寶相花　薔薇ニ似て数重ニ乃至大ニして千瓣心ニ大紅ニ外色ニ深浅の二種あり

和名ヤエノイバラ

和名ヤエヤマブキ

茶蘼花　藤ノ如くして莖ニ刺多シ春夏ノ間ニ開く花ハ白ク香微ニして清人ニ愛せらるる非し

金櫻子　叢取生薔薇ニ似て刺多シ四月白花を開く秋子を結ぶ形柘榴ニ似て刺多シ

波斯菊　一名西番菊葵ニ似て久ク開く多ク地ニ偃て生ずる

和名ヤエノイバラ

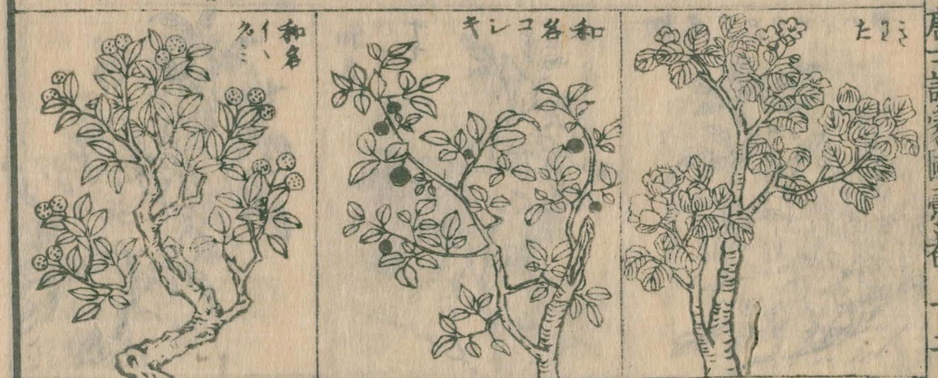
和名ヤエノイバラ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

木綿 樹の
たさ抱こしらう
葉桐に似ていし
秋に入て花を開く
山茶花のごとし
実を結ぶ中に
白綿あり紡て
布につくる

吉利子樹 葉ハ
野桑葉に似たく
小く春白花をひ
らき実をむすふ
朱して甜し
和名ウグヒスノキ
俗ニナツハゼト云

木半夏 樹の
高さ六七尺葉紫梨
に似て遠く光る
実ハ圓にして
桃のごとくなり
して赤くして



賣木子 株
の高五七尺春嫩
枝を生ず葉尖
長し四五月花
を開くなり落て
子を生ず

椿樗 二木
の形幹大抵
相類ず椿木
ハ實して香く
樗木ハ跡して
臭し

珊瑚 葉ハ
山茶の如く小く
木の高三四尺
子赤くして冬
凋まず陰地に
そだし

酸棗 其木
高数丈徑圍一
二尺木の理極
細密にして重し
其核たやし
色丹のごとし

山茱萸 木の
高丈餘葉ハ榆
に似て花白し
子熟して赤色
九十月に実を
とる

蔓荊 高さ
四五尺人篇に類
して枝を生ず
夏花さく淡紅
色蕋黄白色
秋子を結ぶ

蠟梅 臘月
小花を開て黄色
蜜蠟に似たるなり
名けくりと物の
数にあらずむなら
六あり陰むなり

文冠花 樹の
高さ一丈許葉ハ
榆に似て狹小花ハ
藤花に似て色白
し實を結ぶ
と根殻に似て
中に廿餘顆を
含ふ也

蜜蒙 木の
高丈餘葉ハ冬
青に似て厚く
背白色毛あり
花ハ
微紫色し

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

橿

木業

葉ともに冬凋を葉ともに冬凋をうつさず

しん枝と萬年枝との類し

○凍もの類し

橙

樹

橘に似て葉大に其形橘より大にして香あり實久しくありて人家園中に植

橄欖

林擒

和名カンラン

の類より實大なり

核ハ二木瓜を二つ割製して代用ふるを功あり故人の考ともまち

和名ユキ

和名ダイダイ

和名カンラン

棠棣子

三月

花と倶に白し隨て實を結ぶ其味酸くして澁し

棠梨

葉ハ

蒼朮に似り花白く実を結て小棟子の如くして大なり

醋林子

其木

高丈餘枝條

もろく三月花をひらく白し四ひらし九十月実をむすぶ

和名カタナシ

無花果

山北

人家の園中にうゑ多の枝葡萄のごとくして長く硬くもろく枝ごとの間に果と生ず初ハ青く熟すれハ紫赤色をなす

櫻桃

樹ハ

春初に花を開て雪の如しと一枝に數十顆熟しくれハ亟採るれ早くハ人の考とまち

龍芳

三月

小白色をひらく実を熟して肉味甘酸を食し

和名イチジク

和名ユスラ

菴摩勒

木の高二丈枝條甚軟のに葉もろく細密朝に開て暮に斂る三月花開て栗米のごとし

椰子

木ハ

椶櫚に似て高数丈子木ホに似り大さ瓢の如く枝間に生ず

檳榔

木乃

高五七丈正直にして枝なし青桐に似り葉木頭に生じ其實房をなす

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』　請求記号 031-H545t

ガラス使用

蟹子桐　花葉ともに梧に類して實の味甘し吐をよくし痰をとく植て翫とす

波羅維得　或云白木にあり油をとる油あぶらのごとくなりと

拙案スルニ此説非ナリ今江州ニアルモノ即蟹子桐ナリ波羅木ヲ本州ニテ考ルニ此二國ヲ考ヘテ江州ヨリ来テウエヘン生ヤスクレテ油ヲトル利アリ

波羅維蜜　樹の高五六丈冬凋まず花なく実なりて枝面より生ず大さ冬瓜のごとくその皮の栗穂あり五六月熟す其肉黄にして色味甘美なり汁液多くして猶のごとく絲

和名アブラキリ

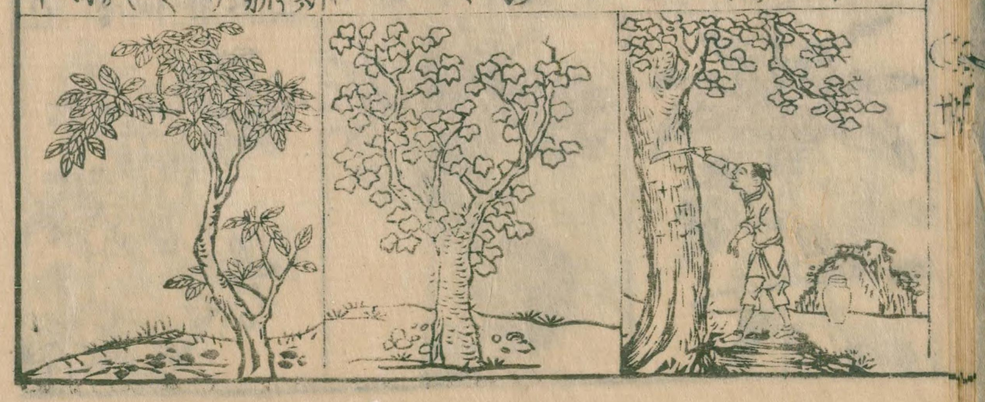
藤黄　樹と海藤と名づく真臙の大刀を以て枝と斫ればその汁をとりおさむ

今畫家ニ用ユ能シワリコレアリ

波羅蜜　樹波斯國より来る者あり其木より脂液の滴るにて採に時月をへて

攬　攬よく人の骨節ひらく堺とするもの

盧會　波斯國より出つ今廣州より来る者あり其木より脂液の滴るにて採に時月をへて



血竭樹　木乃高數丈葉ハ櫻椰ニ似テ三角あり其脂液木中より流出て滴膠の如く久くして凝りかたまる

阿魏　西蕃及ひ崑崙よりいづる或云ふ脳を毒をころすの草と樹下よりでて生ずる形その脳草ニつくる形ニ似たりと

今ハ廣州よりいづる茎葉ともに芹ニて饅とかして食ふ

龍腦香　婆律國よりいづる木中の脳白松脳ニ似て杉の木枝をなすもの

菌桂　葉細文ありうすく光沢あり三椏文ありて白二色し葉銀杏の如くありて枇杷葉の如し○和名もと所ニよる

肉桂　葉桂ニ似て皮うすく辛熱甘味あり花も赤色にして實ハ桂ニ似たり

丁香　木の高丈餘葉櫻椰ニ似て細葉色しく子枝蘆の上ニ出て穂をなす

和名メカツラ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

側柏 その葉側びふと以て名とは三月むとひらくさ実を結ぶ圓葉片とかはものをしめつへし

沉香 木に節多く葉橘に似て花白く子ハ檳榔に似て大さ桑の如し水より沉ものと上とは

降真香 番国より出る香蘇方木に似て黒色と諸香に和して焼ハ鶴と感し神と降る

檀 和名とうの木 二種あり一種ハ紫度して榛に似たり丸に田疇うへて民用に利あり

茶梅 白と粉紅との二種あり十月むさく用て久しく而たり 世ニ山茶花と云ハアヤマツシ山茶花ハ和ニ云ツバキナリ

海桐 葉ハ手の大乃如し皮梓の如く白皮にして堅く縄となしてもちにて爛まれ

扶杉 江南山谷に生ひ樹大枝十圍あり風無して葉うあけり詩経に謂唐棣之華あるなり

蘇方木 樹ハ槐に類すむ黄に子黒し出人とりて絳色と染む

杜仲 木の高数丈葉辛し表の如く皮厚朴に類ひ内に白絲と出る

烏藥 菓微圓にして尖て三亞とあれ面青く背白し五月に黄白の細むと開六月実を結ぶ

撮欖 木ハ木穂に似て高し秋の晩に實なる家ニ於ては其木を撮に作て撰魚皆浮出と云

楸樹 木なり大小あり大なるハ琴瑟に作へし葉ハ梧桐に類を白むとひらく 和名ヒサキ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

薪木類　樹ハ

桃梅ノ如クニシテ葉離披シテ花衣ノ狀ノ如シ不実中ニ白粉アリ餅トスベシ食ヘバ人呼ンデ菊花ト云蜀呉ニ交趾ニアリ

烏桕木　樹ノ

色漆黒體重堅緻ニシテ枯ルトモ朽ルコトナシ葉ハ毒アル似ラ牲毒ヲ解ク

檪木　樹ハ

山桃ニ似テ少ク木ニ小斑點アリ皮厚シテ軟柔ニ皮近邊ヲ用テ鞣ノ裏トス

相思子　樹ノ

實ハ丈餘葉ハ梔子ノ如クニシテ尖ル小サキ花アリ紫ニシテ香ヲ收レドモ結ス

巴豆　木ノ

高二丈葉ハ桃ノ如クニシテ厚ク大ニ四月ヲ發シテ五六月實ヲ結ス

大風子　大樹ノ子狀鄧ノ如クニシテ圓カリ其中ニ核アリ數十枚中ノ仁白ク之ヲ搗テ油ヲ取ル

猪苓　土ノ

底ノ生ル皮黒ク塊ノ如キ形猪糞ニ似ル故ニ名ク一名地烏桃

訶梨勒　木白

クヌハ梔子ノ如クニシテ青黄色皮肉相着ク七八月實熟スルヲ

櫸　樹大

高ク聳テ柳樹ノ如クニシテ葉ハ榎ノ如シ其材性堅シテ水ニ浮ヨリ故ニ船ヲ造ル木ノ久シテ石トナルアリ

楠　樹大

ホルテ樟ノ如シ其材ヲ器ニ造ルニ堪タリ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用

唐土訓蒙圖彙卷之十三

名下ニ和名を附

禽獸

此部ニハ山川林地水原の産する所ハ
とりけたものの乃をて殊にこれし

鸑鷟

神鳥なり風のことくにして
紫多し國語ニ周のおとろ時より
岐山ニなくといへ事

世樂鳥

南方より出つる狀五色ニ
丹喙赤首ニ冠あり王者明德ありて
天下太平なる時あらはれ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

秦吉了

形鷄鵝に似くを白し頂の毛縫ありて人乃髮のごとく舌ごとく舌乃しわむ乃聲は兒女のごとく秦吉了は丈夫乃ごとし又一種あり[illegible]紺黒[illegible]肉冠をて人の耳のぬし[illegible]黄文あり[illegible]黄なり

鷁鳩

一名鉄鵰鵰といへり形鳥より小にして[illegible]を逐ふ三月より[illegible]農人[illegible]候[illegible]

甘蔗鳥

[illegible]鷄[illegible]小[illegible]言語[illegible]交趾[illegible]

海東青

此鳥[illegible]麗より[illegible]

[illegible]旋風の如し[illegible]義仁の性ありてふしたる[illegible]

○鷹隼。鷂の事別蒙図彙にあり故ここに載せず

鵰

此鳥性[illegible]義あり[illegible]風[illegible]

[illegible]

秋鳥
一名ハ扶老鶴のことし翼の廣さ五六尺許とあられハ六七尺長頸赤目頭項ニ皆毛なし足爪ハ鶏のことく色色
鱇鐘
水禽に大さ孔雀のゝ觜長尺餘足出口勾り束冠のことし二体体とみるへし酒點とは化物とかゝれ木葉と食ふ鷰薫陸香に似たり
鷸鳥
鶴に似て殊に小し身黒く頸長して
陽鳥
鶴に似て殊に小し身黒く頸長して
彰雞
項金色に嘴紅にて形鶏に類せ其色ハ鶏のことし三月三日なりて九月九日なり群飛なり雷のことし

昆鷄
鶴に似て黄白色に頷長く喙赤く九辨啁哳しきゆ悲鳴
鶺鴒
狀ハ鶴のことし水鳥の類に呉中乃田間に生
玄鶴
その色黒し王者歓樂の器あらはハ至むかし黄帝樂を崑崙山にあらふ時に玄鶴飛へり
旋目
大さ鶏の如かして尾みしかく色和白色に深目にて目の旁の毛もして旋れり文選上林賦にこれをのれ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

方目（かため）

水をこし額白く白肉冠あり嘴は似て短く脚の指ひろく足まるしひるよく大あり

蒼鴻（そうこう）

善く高く飛て遠く似て青白色を蒼白なり因て相敷（あひしき）なずむ吐てよをうむ

白鷴（はくかん）

鷴の類（たぐひ）その色白く形ハ雉よりさもちいさし渓乃（たに）ほとりにあり

蜀王（しよくわう）

水鳥に似て大よし長脚赤目紫紺鶏（しこんけい）に似ても濃（こまやか）なり観（みる）べし

鷁鳥（げきてう）

鷁鷁（げきげき）白く人語て白く鷁（げき）に似て白鷁（はくげき）なり

鵜（う）

鳥に似て後指（ゆびさき）ひらく豹文（ひやうもん）あり鷙鳥（しちてう）よく鳥を啄（ついば）て羹（あつもの）を激（はげ）して食（くら）ふ

鵜鶘（ていこ）

一名（いちめい）鵜河（ていが）一名鵜澤水（ていたくすい）に泥て魚（うを）とらふ鷙鷁（しちてう）の別（わかち）あり形（かたち）鵜（てい）に似て大にして灰色（はいいろ）なり

信天翁（しんてんおう）

狀鵠（じやうこく）に似く喙（くちばし）長一尺水際（みぎは）に在て魚（うを）とる人（ひと）これをとるに飛（とび）去（さら）ず因（よつて）名（な）づく信天翁（しんてんおう）漫畫（まんぐわ）同一類（どういつるい）和名（わめい）アホウドリ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

鸕鷀

水鳥雁乃屬長頸緑色ニ形鷹ニ似て其羽裘ニ似ヘし又一種狀鷹乃ごとく稍大ニ足短く稍鼠ニ似たり

非羽羽卒

ニ形魚狗ニ似て稍大なり水を居て魚とうらふ或ハ冠有て灰色ニ觜獅果なり或ハ赤ハ非羽ニして後の羽卒なるもの

嗽金鳥

昆明國ニ出し形雀ニ加く色黄ニ魏の明帝の時来ル獻ニ真珠と魚鱗と餌ニ常ニ金屑をたく

鶻

形ハ雀ニ似て尾長しぬく葦の皮を剖て其中の虫を食ふ四ヶ月の間多し和名よりすめ

蒿雀

麻雀ニ似て黒色つゝし蒿の間ニ在る故ニその名ありこれを食て諸雀よりも美なり

突厥雀

大さ鴿の如形雌雄ニ鼠獅ニて後趾なし尾ハ岐あり身の色あしなてん群雀

黄鳥

形鸜鵒よりハ大ニ毛ハ黄色ニ尾ニ黒色相まじる眉黒く觜尖ニ脚ハ日なくてゆふうらひをまへあらん

繡眼兒

形ハ小さく月白く月ハ絶なりぬし目色ハ青ハ褐色ニ群をなし枝ニならひあらそふなり

鵠

鷺小にして高く挙りて中るに故に射侯にさわらを務とし此あるを笑ひてうとすれば非し

正

正ハすなわち鴟鳥小にして飛ことに疾して家射にして故に布侯に盡して

反舌

春始て鳴て五月に至て止ぬと反易れ百鳥の鳴に效ふ又百舌とも名なし

杉鷄

形鷄の如く頭上に黄毛冠あり頬ハ青色にして垂縷の如し杉樹の上に出ず

民眠母

大さ鶏の如黒色し南方池澤の茹蓋の中に生れ其色人の吐すかことく甚さひこれに数一二鉢と吐出す

鶻嘲

その形を鷽に似て目鶻に似たり尾ハ屈促ねて繼縷の如しあの考明にあることとあの事

鴟鴞

その形ハ鳥のことくなりして足ハ赤色色とりつく火と禦しむへし

鵴

青要山に鳥あり狀鬼のことし青身にして赤尾なりこれと食べし子孫に宜し

286355

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

雕

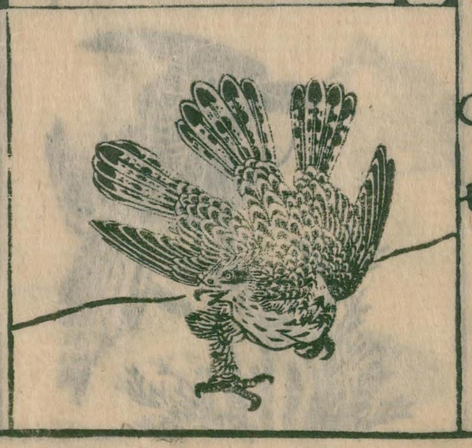
そのさち
あくろう
のごとく面
人ましく
目はあり
まれり
あらは

飛簾

飛雀に分ハ
鳥にて此ハ
鹿なり風
俗通曰飛
簾神雀
よく風雨
と致れと
いつり是し

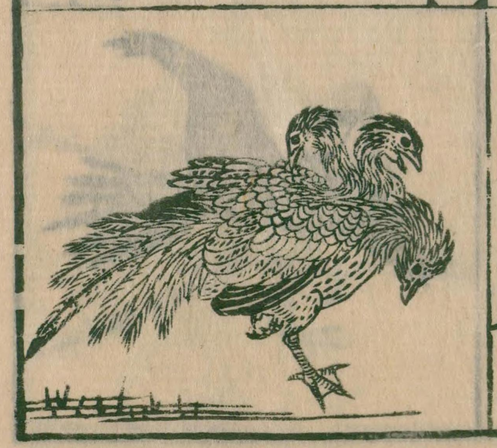
鷴

そのさち
鵰のごとく
一首にして
三分
黒文
頸にて
赤し



鷹如

そのさち
鵰のごとく
三首にして
足鳥にて
そのん
尾
長し



鷂鴰

是鬼車鳥
天陰とは
なり又車の鳴
ごとく一俗伝
に為す此あり
よく人の魂乱
と收び一首天
神のあるなり
さしに今ハ血
滴てやまれ
鳴時ハ人犬と
呼てまじるなり

治鳥

大さ鳩の如
まる色に樹を
穿て巣とつ
くり大さ又六
体ある恵の
ぬし口敷も
堊とかて鎗
とは赤白相
間て射侯の
ごとし伐木者
是を避されハ
あさとかれ

寒蠅蟲 五靈脂

そこ狀小鶏
の如し四足
閃翅あり
月毛采五色
自ら鳴鳳凰
も家に志れ
といふとし
久しくして
毛落て毛と
ゆくこ浮過
且過と號ふ

石燕

乳穴石洞
の中にあり
狀蝙蝠に
似て口方
なり
石のうち
の石燕にハ
あらは

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

芸窓日永して讀耕に倦ミ書冊を抱して宰予と学んとは忽ち客あり桑樞を啓て入る寒暄畢て後机上の冊稿を探て閲て禽祇にいたらず出と掩て嘆し旦怪ミて曰今此図のぬかみとなるに古人論ありて未聞を知るもの多し多くは多くれ是亦彼大鵬のことは莊周既に詳説し王圻探て圖は今世に載さるは遠志しきにあらずや将疑しまを闕ち請ふ其説を聞んとは予佛然として曰客何必大鵬を以ふや夫鸑鷟ハ禽中ミ靈秀にして聖代に出て岐山になく辟言ハ人中に聖賢にあらずと大鵬ハ禽中の怪物小海に出て九天を凌く程人中有壯老にあらぬしまた説皆妄誕荒唐なり故に今妄を屏ケ疑きを闕て惟その質の知やはくして未圖をもらるゝ乃と世の希有にして図なれば抱と説とあらずして是も亦格物窮理乃一助とするのミ況又王圻も知て圖すれば其説も亦軒渠すべしといへば客ありて曰の函することを不知やうことなくして去ル予復書を読て日の函することを不知

麐

土畜なり信にして礼に應ハ狼の額赤き目五の蹄仁と合ミ義と懐き音鐘呂に中ル行規矩にあたる

龍馬

馬八尺以上を龍とは昔伏羲の時ハ黄河より於る出るを背に旋毛あり一ツよりみ千にいたれ伏羲あれによりて八卦を畫しさまふいまの河圖にもとなり

白澤

東望山に沢獣あり能言語王者德幽遠と照ハ時ハ至る黄帝巡狩し東海に至る時此獣言語ハ

果然

仁獣也猿より大にて体三尺にすこれ鼻孔天にむふ面方ハ木上に尾にて鼻とふさくそ毛長く柔に白黒文を○天子衣衣十二章にあり宗彝これ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

海豹

そのかたち豹のごとく五色の文あり水涯にあつまり一切の魚をとりくらふ和名アザラシ

海牛

その長さ丈餘あり鬚ながさは七尺角かしら牛のごとく尾は魚のごとくにして人をとらへ食ふ

水犀

犀に数種あり山犀は三角水犀は二角一角あつて靈あるは通天ともに通天の者は乳をみつつそゝれとみえてる渦水をひきて出づ今圖するは一角にして水犀なり

兕（犀ノ牝ナリ）

禝過山に多し狀野牛のごとくまた色一角長三尺餘馬鞍を製す身の重千斤其皮厚く鎧を製へり

犛牛

狀牛の如く体もく多力なりしてまたとの尻髀膝尾皆黒毛なり尾ながくして引れども地に曳ず古人これを旌旄となし白色なるは貴とす

犛牛

西南夷の長毛牛に似て四蹄膝下及び肘皆赤毛の長尺餘ありひ尾よく大さ斗ばかりまた天まの車蠭あり尾を以て拭ふ

犛牛

その狀水牛のごとく漆黒なり一説を含ひ出と欲ふ糞と共にこれを利と鋼ろ

犛牛

狀牛の如くして角せしひとつありひたひを貫き尾を引れてこれを敵しかたき骨を穿ちてうつ走ること百里

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

羆 ひぐま

狀如熊而白文有毛頸短而脚長性猛惡多力人のごとくに立て人と害ず

獲 やまと

色黒く熊に似人と攫持ち長七尺人のごとく形猿に似て健なる盛に猿大百歳を経る時は此ものとなるとぞ云

猩 しょうじょう

狀猿より似て黒毛長く面赤く耳長く髪うるはしく声小兒の啼ごとし又よく舞ふ性好て酒を飲ことを愛す故に酒を以て捕ると也

猨 えん

狀猴に似て小く青黒色尾長し交趾より出つねに群をなしてあそぶ

猴 こう

狀小猿の如く赤面にして尾長し

猶 ゆう

狀猴に似て大なり

獨 どく

形猴より似て大なりよく猴猿をとらへ一疋猴をとらへて獨ゐるとぞ

野干 やかん

狀狐の如く頭正しき方うし人を似うし髪の毛尺餘にして面と耳とのごとくにしてよくなく

蒙頌 もうしょう

狀小雌犬の如くにして毛深く交趾より出つねに猫を喰ふ

狒狒 ひひ

狀三歳の小兒の如し赤黒色目赤く耳長くして髪うるはし川澤の神なり

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

赤貍
西海にあり周文王乃姜里に囚まふとき散宜生是を獻して遂に西伯の難をまぬかる
風貍
[illegible]
乘黃
西海の外白民國にあり白身髪を被り狀狐のごとし其背上に角あり これに乘れ壽二千歲なり
玄貈
滲瑯澤に玄貈あり穆天子是を得て河をまつる周礼に貈海をこゆるとき死れ此地氣をしらしむるといへり

天狗
陰山に獸あり狀狸のごとく白首蛇を含ふ其音猫の如し是を佩ひて凶を禦へし
豺
胡犬之狐に似て小し喙黑くしてなし[illegible]
狡
玉山に獸を犬の狀にして豺の文牛乃角あり犬の聲なり[illegible]
黑狐
北山に黑狐あり神獸之王者能太平を致時ハ此獸あらはれ四夷來貢ハ周の成王乃時いつ[illegible]

麂

麂の類しようくまにたる虎のあまと必ずて鹿に告て知らむ麂より毛長く足物のことくなり

茶百札

その状鹿に似てあれよく毒草をくらふ○又一種は状鹿に似てお頭に頭あり一頭は食し一頭はゆくといへり其を藥に

挑拔

鹿に似て尾長く角ひとつあり これを天祿とは両角なるものと辟邪とは一名挑拔

麈

鹿に似て大なり其尾は麈と辟く茜帛なり中に蒸え氣しくても色を黷さらしむといへり

比肩獸

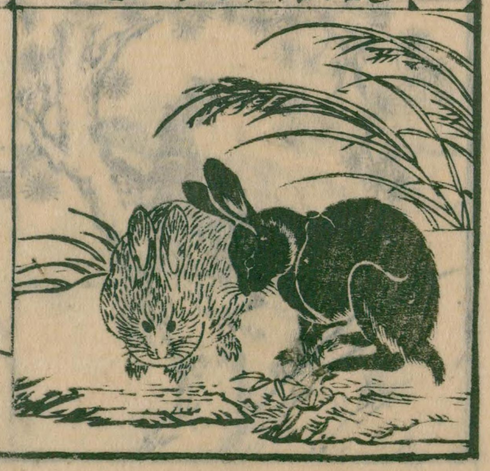
西方の獸なりとも状鼠にして後は兎し一名は恐蟆

隱鼠

大さ牛のことく頭は鼠に似て鼻は似て蹄を蹄て毛は灰赤毛綱おて尾上白色も力をてうぶし

狡兎

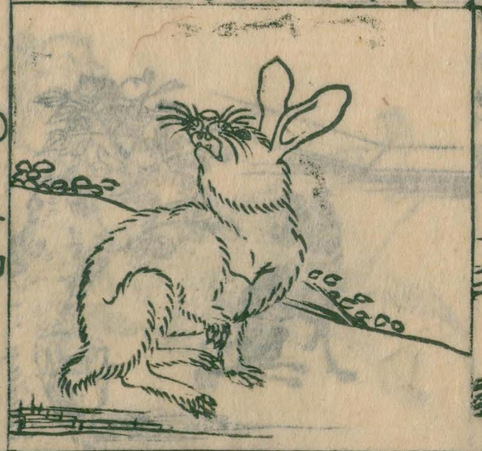
状兎の如し雄は黄に雌はつよし丹石銅鉄をくらふ昔呉王の武庫の兵器をくらふ是を出す後中間獲物なりといふ



碩鼠

頭は兎に似て眼赤し皮を青黄色にして色を白し色とりて胴は皮も白

和名 ぶらごうさぎ



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

猛槐

譙明の山に獣あり狀貆なんまとし赤毫あり鼯鼠なんしとし

鹿蜀

柤陽山に獣あり狀馬のごとし白首虎文あり尾赤く多揺かとし人此皮に[illegible]

臛疎

帯山に獣あり狀い馬首にして角あり以て石を錯へし

[illegible] 騾ト同シ

騾に似て馬よりもすぐれたり舊中国の産する所にあらず匈奴の奇畜なり

旄馬

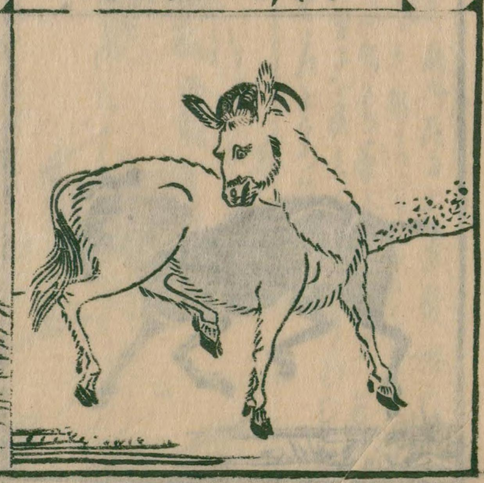
南海の外にあり狀馬の如くして四十節あり[illegible]毛あり

黒下馬

此ハ海国に産して[illegible]極て小し小児これにのりて樹下にいたれば黒[illegible]へし故なり名はく和三云トサゴヘ

山驢

[illegible]角ハ羚羊のゆし但羚角よりやすくなり



海驢

狀駝の如しつゝ秋月詩にのわる産乳すなわち皮ハ制衣して馬具とあらはへし和名トド

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

唐土訓蒙図彙巻之十四

名下は和名を附

魚介蟲

此部には魚鱗甲殻艸虫のさらひのせらるゝ乃ちはなすなし

蜃 その形蛇に似て大にして角ありて鱗の状のとし鬣ゑし獨以下鱗をくゝ逆ふよく気を呵て樓臺城郭のさらとなる是を蜃樓又海市といふ

應龍 恭丘山に應龍あり翼あれ花やむし虫尤黄帝應龍をして翼の野に禦しむ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

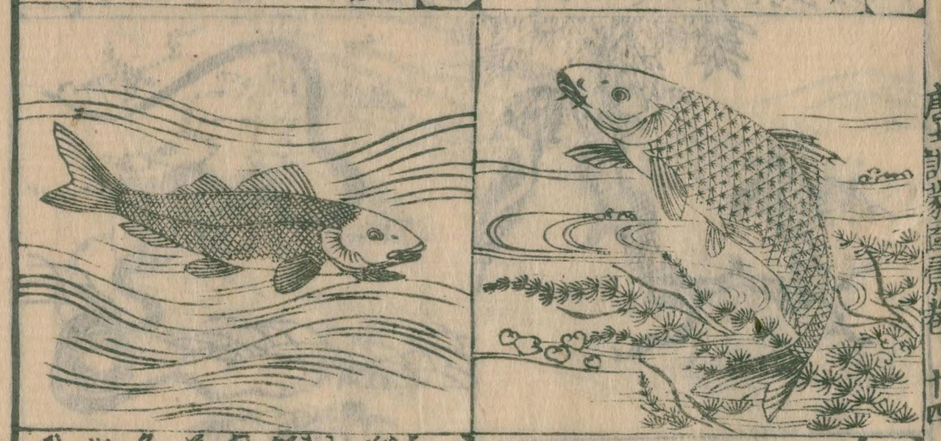
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

鯇（ぐい）

形鯉にして似て色白し鱗はじく鯔のごとく後の方も白湖に多し

石斑魚（せきはんぎよ）

其状白鱗にして黒斑虎のごとく善月虵と交つ此魚水面にうかひ人の物を図と記せふくみる



石鮅魚（せきいきよ）

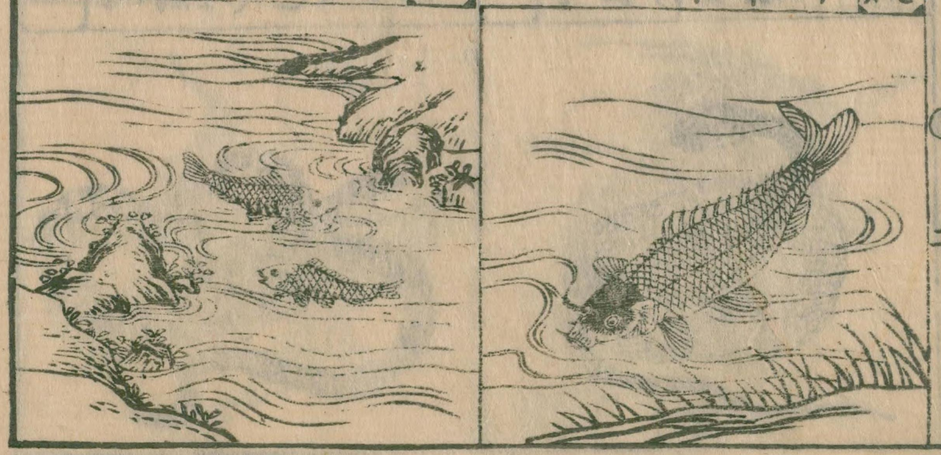
溪澗の中に生ぬ長物す背裏後の下わかし膽とうして食べし

一名山バエ

山ブチバエ

嘉魚（かぎよ）

質ハ鯉にして鱗なり紙肉とかとる美なり此魚丙穴より出川南朝賦にあり

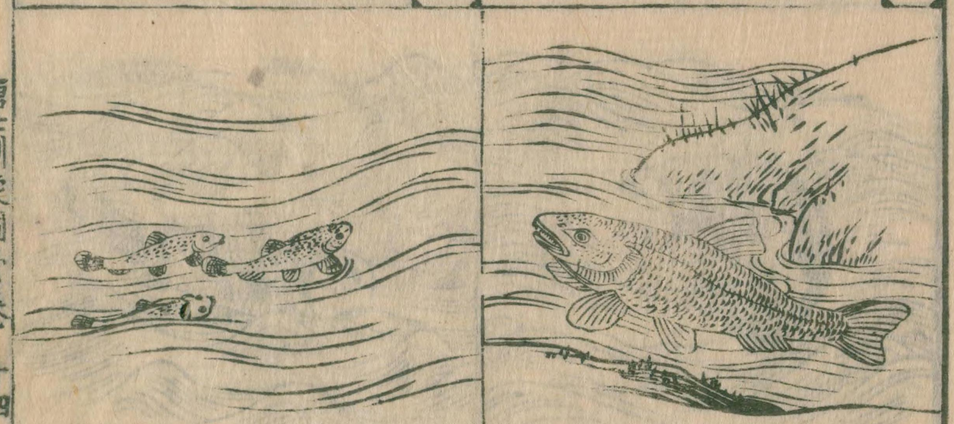


鱒魚（いつきよ）

状ハ鱖にして蒼文赤尾水中の逵にあり水豚の属なり

鱎魚（いつきよ）

そのうちに鯉魚に似て其のかけ小魚なり或いふ鯉の苗なりといふハ非也

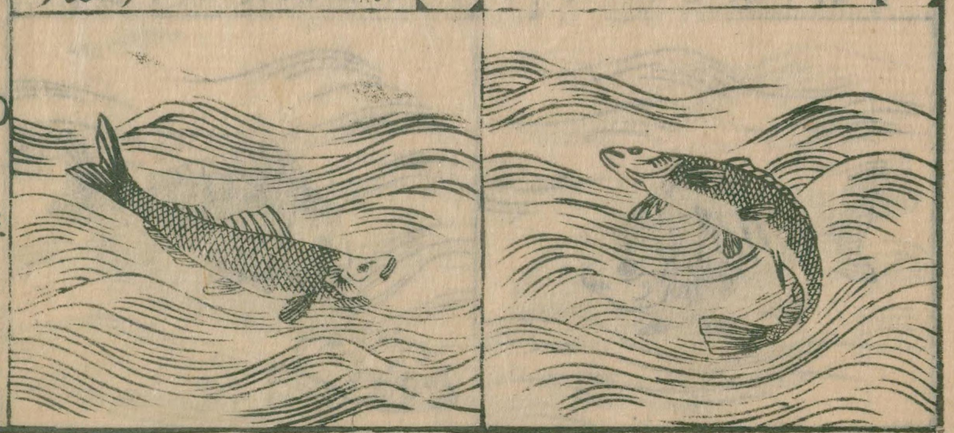


勒魚（ろくきよ）

状鰣魚のごとく小首細鱗腹の下に硬刺ありて人を勒ぬれに名とし東南海中四月にいたる

鱎魚（けつきよ）

其状鯽に似て長二尺あまりにとがりて肉白しむし武王の母より入し白魚これなり



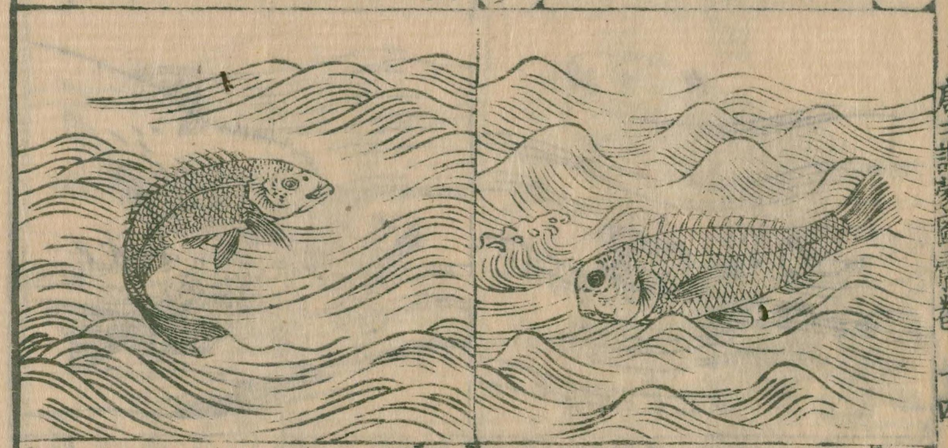
国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

方頭魚

かたち金線に似て大なりひさいの骨丸し尾に岐なし和名あまさい

金線魚

質は棘鬣魚れしくて細長くそのうちに頬のこさより尾にいたり金線をて游泳撰判時に糸とよろかしし

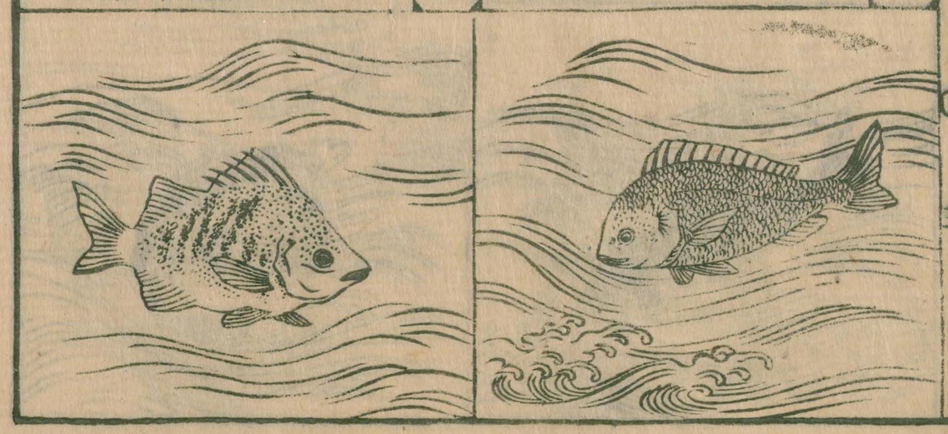


緋魚

狀は紅鯊魚のごとく長大にすえたり紅鯊の類にあらず同大にて色朱のごとし

火燒鯿

鯽尾ともに鰤に似てく脊骨隆く赤き鬣にて尾に連て翼蝙蝠のぬし惡質赤章を綱重りしし

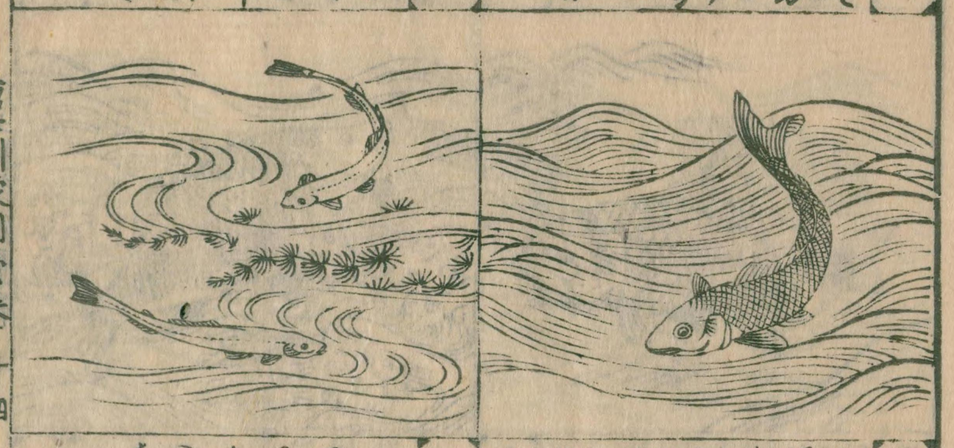


肋魚

鯽魚に似て骨荒なりかをしきかたりて雪と雪映魚と名にて味佳なり

玉筋魚

身圓にして筋のごとく微黒なり鰭似し茎を開く時にいたりて肥し

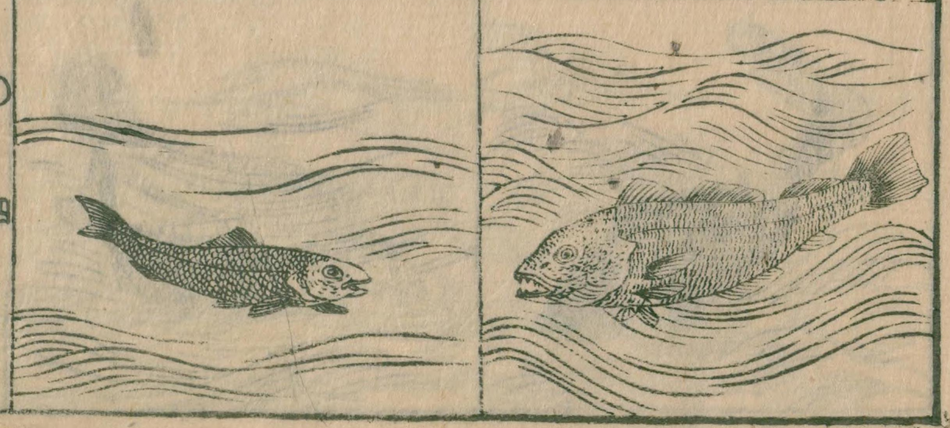


大口魚

その状烏頬魚に似て色濃なりにして大口細鱗なり此魚小海より出川脯となりて佳し

竹魚

狀は青魚のぬくにして骨剥後色竹乃ごとくその青翠をもへし



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

鱮魚

狀鱅の如
あして頭
小に形扁
たれ細
鱗腹肥也
其色家も
白し
一名連魚
といふ

鱅魚

其狀鯉に
似て色黒し
其頭家大
なり目乃
旁に骨を
てと名付く
其臭尸
のごとし

鰄魚

狀ハ鰥に
似て後平に
頭ハ鯢に似て
口大し頬を
鮎に似て色
黒に鱅ハ
鱅に似て
細なり大
なる者三四
十斤あり

黒頭魚

狀ハ鯶子
に類に長
尺ばかりを
頭黒しで
黒のぬし
頭に白子
二ツ有り
一名北斗
魚

鞋底魚

狀牛脚乃
ごとく又女人
の鞋底のとし
細鱗紫白
色にして
半斤のごとく
其目ハ色に
あり
俗にいふ
のごとくなり

鮹魚

形ハ馬鞭
に似たり
毛に皮を
そなわく
肉白し
或ハ嘴の
ぬきもあり
鮹タコト
クンスルハ非し

華臍魚

其形科
斗の如く
大なるもの
盤のぬし
呉都賦曰
琵琶魚鱗
而形似琵
琶
和ニ鮟鱇ト
云ハ非ナリ

鱧魚

狀長く体
圓く頭尾
ねひくし鱗
黒色斑む
文あるく
蝮蛇のぬし
舌あり鼠
尾につゞく
尾に岐す

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

丹魚 鯸魚

形鯽乃ことく尾に岐ありて色丹のゆゑ尾の端に金さんあり鯸魚ハ狀同しく色ハ黒

鱆魚

その狀鯽に似て小さく三と乗れ一ハ二ハ後にあり焊表のことし故に表魚焊魚あり

鯊魚 ぜ

鯊ハ鱆に似て肉厚く鱗細にして黒文あり小魚にして沙を吹くわきふ子のゆゑ時よし

彈塗 めらせ

一名ハ闌胡形小鰍に似て短し大なる者ハ長三五寸潮退て千百群とかして跳ハ

牛魚

狀ハ鱧乃ことし鱗骨なし背に斑文あり腹の下を牛に似たるとして名て鱆の属也

鮠魚

形鯽に似て色白く鼻にして口頷の下にあり腹黏に似て脊に肉鬐あり

海薑

そのうちに龍乃ぬへ鱗あり足多くして毒あり くらふ人ハ和云ひかでかしらなるへし

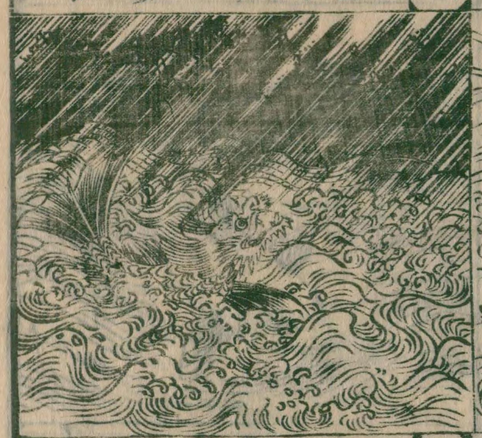
龍魚

狀ハ龍乃ことくにして鬚多く骨かしその味美佳なり四明海中に出る

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

胡鯊

鴟尾



神龜

鼇

蠵龜

玄龜

瘧龜

攝龜

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

海鏡

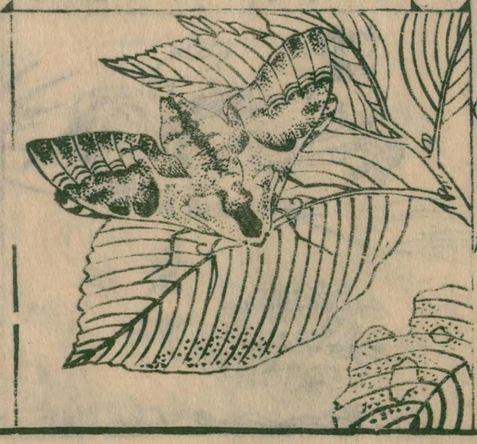
此殼每斤の内一斤ハ[illegible]斤ハ白し 蛤蜊の數也 ○和ニハ[illegible]日貝ハ[illegible]へし

蝛

海岸の石ニ[illegible]着て生ハ肉の形蝛ニ似たり味も又よし 鰾膠とするへし

樗雞

一名ハ紅娘子 [illegible]



蜩

そのうち首方より廣く冠を蟬に似て小く鳴聲清亮なり 一名ハ蝘一名ハ寧母

蝗

蝗と同し 苗むとなる 淮南子曰法令と枉れて蟲蝗多し といつり今金鼓を以てとらるし

菊虎

その形蛍より似たり 菊の苗を含てそれ菊の宿根より化れり といつり 小出し

蠍

形ハ水黽のぬく八足にして長尾なり 節ありて海濱大なるもの人をさせし 死ハ毒出なり

蜮

形鼈に似て長二寸其色黑し 背上に甲あり 口に角有 [illegible] 氣を以て人を射る中れし死ハ

国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t
ガラス使用

水虎

謝豹蟲

無三祖六法之傳。然不能以通神。矣嘗才
令所塗抹。未免仲由之木劍。昭君之帷帽
之病。觀者宜恕焉

浪華　畫者　橘有税

名所記総目録

浪華心斎橋通　河内屋太助梓行
唐物町書林

平安秋里籬島輯

五畿内名所圖會　全部三十冊

各國神社佛宮の傳記山川幽谷國境村里名賢英哲の経路を詳にし名所を證歌をかけ悉く今の風景とそのまゝ絵に寫し間々かな文章をくらべて其濫觴と提実に全備大成の出之以下名所圖會準之

都名所圖會　全部六冊
大和名所圖會　全部七冊
和泉名所圖會　全部四冊
都拾遺名處号会　全部五冊
河内名所圖會　全部六冊
摂津名所圖會　全部十二冊

東海道名所圖會　全部六冊

東曾路名處号會　全部七冊
伊勢路名處圖會　全部六冊

仙道も別より上仕立ち[illegible]
[illegible]
仕立[illegible]
[illegible]

北陸東奥勝地真景

廿四輩順拜圖會

全部十冊

山城 近江 越前 加賀 越中 越後 信濃 上野 等八箇國 前篇五冊

武藏 下總 常陸 陸奥 出羽 下野 相模 甲斐 駿河 遠江 参河 尾張 義濃 後篇 附錄 伊勢 大和 河内 摂津 備後 五冊

山陰道名所圖會 全部七冊 近刻

南海道名所圖會 全部廿冊

紀伊國名所圖會 全部五冊 淡路 阿波 讃岐

同後集續篇 嗣出 伊豫 土佐 續刻

文中題詩諸名家寄合書

唐土名勝圖會

直隷省部 全部六冊

此書は今時大清輿地一統の全圖を先おき直隷京師大内皇城内城の地名圖郊坰に乃まで[illegible]全圖をおきてる圖は乃ほし[illegible]

唐土訓蒙圖會 後素軒橘守國圖 全部十五冊

此書は三城國中神社佛閣の傳記を愛し[illegible]歌人英哲等の經歷を敍百編の引書[illegible]記し舊事を[illegible]助[illegible]

山城名勝志 全部二十二冊 景十二枚箱入

山州名詠志 全部二十二冊

此書は三城國中[illegible]

帝都雅景一覽 文鳳山人書 全部二冊

此書は都乃勝地を[illegible]

京の[illegible] 全部二冊 [illegible]

都細見之圖 懷中折本一冊

都名所[illegible] 懷中小本一冊

花洛細見圖 折本十五冊 [illegible]

出來秋市七座 全部七冊

京師[illegible]覽 全部拾五冊

都業時記 全部七冊

日本風土記　全部　八冊

都れなどの名　絵本　二冊

大日本國花萬葉記　全部　廿八冊　新板　増補

雑波丸綱目　全部　七冊

摂州名跡志　全部　廿冊

泉州志　全部　六冊

住吉名勝圖會　全部　五冊

長崎記行　全部　一

勝地真景　山水奇観　浪華旭江縮図　前後各四冊

東國名勝志　全部　五冊

摂津名所圖會　全部　十冊

東北記行　全部　五冊

西國船路記

雑波かなの名　絵本　五冊

多識於鳥獸草木之名。此傳知之事。學者之所宜潛心也。此書就天地人物圖之說之。裁為小冊。孰不珍焉。本邦向有訓蒙圖彙。今所収載。皆拾其所遺。觀者幸毋以依樣畫葫蘆貽嘲。專庵頃有此選。予與校讎。因附一辭于卷尾云。享保己亥攝江穗積以貫伊助甫跋

享保己亥歲宦淮

浪華書肆寶文堂上木

享和二年壬戌春求版

御堂筋瓦町南
小刀屋六兵衛

心斎橋通北久太郎町北
河内屋喜兵衛

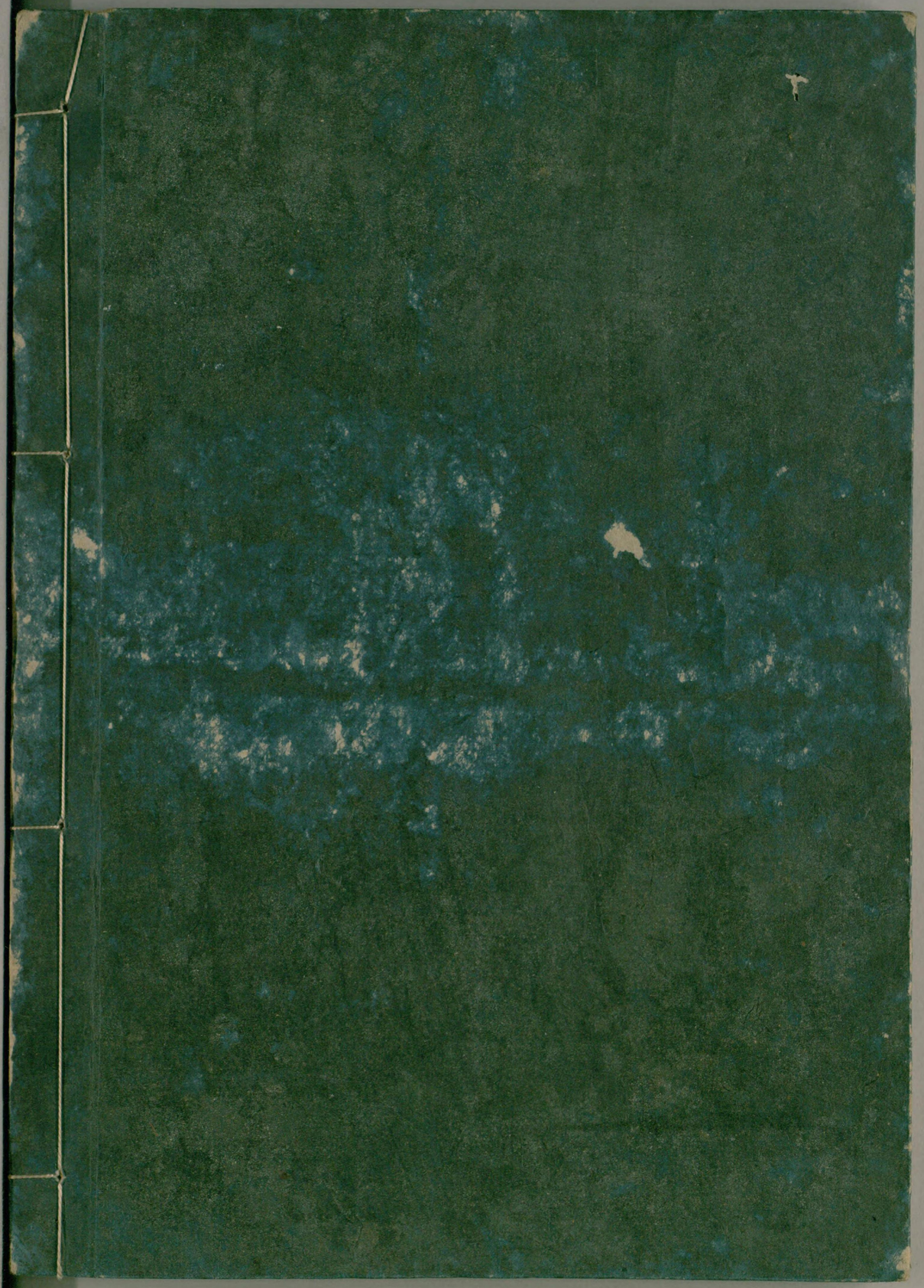
同 通唐物町南
河内屋太助

同 通北久太郎町南
河内屋吉兵衛

浪華書舗

[illegible]古小說物 詩集 文集 詩作物 和搨 不刻
字學之 醫書 古方 後世 諸宗佛書并經類 大般若經 一切經
國學之書 歌書 連歌 俳諧 雜歌 茶湯書 歌雜多品
基將 基書 繪多本 八卦書 人相 家相 算法書 心學書
庭造傳 植木書 節用書 用文章 女教訓書 百人一首
其外古渡新渡唐本和本古本新本寫本類品 仕入方
以味仕 藏丁書改二ヶ都立直版為 摘上ハ百ヶ所多少御用
[illegible]御付 [illegible]本 頒上ハ

江戸 書物問屋 慶元堂 淺草新寺町 和泉屋庄次郎
越後 出店書肆 寶善堂 柏崎嶋町 和泉屋七兵衛



国立国会図書館　タイトル『唐土訓蒙図彙 : 14巻』 請求記号 031-H545t

ガラス使用